

2025年度・2年生ガイダンス資料

2025年3月31日 法学部教務委員会

1. 卒業要件の再確認 (→『2024履修要項』249頁、252頁～257頁。)

科目の分類		卒業必要単位数	備 考
教養科目		16 単位以上	英語 I A、同 I B、同 II A、同 II B は必修
専門科目		84 単位以上	
学部コア科目	24 単位以上	1. 「法学ベーシックスキル」は必修 2. 「法学入門」、「憲法入門」、「民法入門」、「刑法入門」をすべて履修し、6 単位以上修得 3. 「法学スタンダードスキル」は履修必修 (→3. 学部コア科目の履修について)	
キャリアデザイン科目	30 単位以上	履修必修科目 (両コース共通) 「職業基礎力 B」、「職業基礎力 C」	
コース基礎科目	10 単位以上	必修科目 (コース別) 公共コース：行政法 A、行政法 B 企業コース：会社法 A、会社法 B	
コース展開科目	20 単位以上	1. 「卒業論文」、「卒業試験」のいずれかを含む。 2. 「専門ゼミナール I・II」は履修必修	
合計		124 単位以上	

*1 年次の履修必修科目の記載は省略した (→『2024履修要項』253 頁)

2. 学びの順序について

「カリキュラムマップ」(→『2024履修要項』250 頁～251 頁) 参照。

学部コア科目も意識して

公共コース：憲法 A、憲法 B、刑法総論

企業コース：民法 A、民法 B

3. 学部コア科目の履修について

(1) 「入門」4 科目

(2) 「法学ベーシックスキル」

「単位認定制度」(→『2024履修要項』275 頁) はありますが、履修登録するほうがよい

(3)「法学スタンダードスキル」(→『2024 履修要項』269 頁)

- ・履修必修の対象者は、1 年次に「法学ベーシックスキル」の単位を修得した者。
- ・「法学ベーシックスキル」の単位を修得しなかった者も選択することができる。

＊ただし、「法学ベーシックスキル」と並行履修になる点は注意！

法学検定試験スタンダードコース受験には、エクステンション・センターの講座も活用！

4 月 18 日（金）開始。申し込みは教育支援課法学部係へ。期限は 4 月 14 日（月）。

受講料は、30,000 円

4. インターンシップ科目の履修について (→『2024 履修要項』272 頁)

大学の外に出て異なる世代、異なる職業など多彩な人たちと交流するなかで現代社会が抱える諸問題を認識し、その解決に向けて様々なところで他者とともに行動する能力を身につけることが目標！

法学部教育において、法的な知識・思考の修得と並ぶ二本柱の 1 つ。

(1)「地域インターンシップ A」

自治体や公的機関、NPO など、地域社会を支えるさまざまな主体の活動に自発的・自主的に参画し、その体験から得られた経験や知識、体験した活動の社会的な意義、そして体験が自身をどのように成長させたかなどを分析・評価。

(2)「企業インターンシップ A」

企業での就業体験を通じて企業の活動の内容や社会で果たしている役割についての理解を深め、社会に対する視野を広げるとともに、将来のキャリア形成に対する具体的なイメージを描く。

5. 6 つのプログラムについて (→『2024 履修要項』273 頁～275 頁)

(1)プログラムとは？

- ・1 年次の「法学検定試験ベーシック<基礎>コース」合格の次のステップとなります。

(2)プログラムの種類と単位認定、卒業試験免除

プログラム(資格・検定)	要件	効果
法学検定スタンダード	合格	「法学スタンダードスキル」の単位認定 <u>または</u> 卒業試験免除
知的財産管理技能士	3 級	「情報と法」の単位認定
	2 級以上	「情報と法」の単位認定 <u>または</u> 卒業試験免除
各種英語検定	英語検定 2 級以上 (または相当の他の検定試験)	教養英語の単位認定 (→『2024 履修要項』25 頁)
行政書士	合格	卒業試験免除
社会保険労務士	合格	卒業試験免除
宅地建物取引士	合格	卒業試験免除

(3)関連科目

『2024 履修要項』274 頁～275 頁の表参照。履修登録の際の参考にしてください。

6. 「卒業試験」、「卒業論文」に向けて

(1) 「卒業試験」、「卒業論文」について (→『2024 履修要項』278 頁～279 頁)

「いずれかの単位を取得することが、卒業の必須条件」

① 「卒業試験」

- ・「法学検定試験ベーシック<基礎>コース以上の難易度の問題」
- ・「15 回の授業の中で試験を複数回実施」

*以下の検定・資格試験のいずれかに合格していれば、「卒業試験」の単位が認定されます。

(→『2024 履修要項』345 頁～346 頁)

- (1)司法試験予備試験 (2)司法書士試験 (3)弁理士試験 (4)行政書士試験
- (5)宅地建物取引士試験 (6)社会保険労務士試験 (7)税理士試験 (税法 1 科目合格)
- (8)知的財産管理技能検定試験 1 級 (9)知的財産管理技能検定試験 2 級
- (10)法学検定試験アドバンスト<上級>コース試験
- (11)法学検定試験スタンダード<中級>コース試験
- (12)法科大学院入学試験 (既修者コース) 合格
- (13)他大学大学院の法学研究科 (修士課程) 入学試験合格

② 「卒業論文」

- ・所属する専門ゼミナールの担当教員が指導教員になる。
- ・字数は、8000 字以上。

(2) 「卒業試験」、「卒業論文」に向けた学び

① 「卒業試験」に向けて

- ・それぞれの専門科目をしっかり勉強すること
- ・「卒業試験」の単位認定の対象となる検定・資格試験の勉強
とりわけプログラムの対象となっている、「法学検定スタンダード」、「知的財産管理技能士」、
「行政書士」、「社会保険労務士」、「宅地建物取引士」については関連科目の履修

② 「卒業論文」に向けて

- ・指導教員は 4 年次の専門ゼミナール担当教員
3 年次の専門ゼミナールの選択が重要
(→『2024 履修要項』277 頁。)
- ・講義科目、専門ゼミナール、インターンシップ科目等で、より詳しく知りたい、考えたいという
テーマを見つけていこう！